

どうする? 英語力を伸ばす言語活動

~NEW HORIZON 体感型英語セミナーを取材しました!~

#言語活動 #セミナー #NEW HORIZON



講演された前文部科学省初等中等教育局教科調査官の山田誠志先生（現 至学館大学教授）

東京書籍の英語編集部中学英語が主催する NEW HORIZON 体感型英語セミナーが、昨年12月7日に東京のTKP市ヶ谷カンファレンスセンターで行われました。テーマは「どうやる?英語力を伸ばす言語活動」。前文部科学省初等中等教育局教科調査官の山田誠志先生の基調講演や各種ワークショップに、全国から先生方が参加しました。

中学校英語『NEW HORIZON』編集長の城戸彩子さんは、本セミナーのねらいについて「先生方の困り感や指導上の疑問点などが解消され、明日からの授業のためのパワーを持って帰っていただけたら。」と語っていました。

~中学校英語における「言語活動」・山田先生のご講演~

まず、冒頭のご講演として山田先生からは、言語活動とは目的・場面・状況が与えられ、学習者が内容を考えて行う活動であること。そしてそうした言語活動を行うまでに、ドリルで言語材料を定着させた

り、単元のゴールとなる言語活動と同様の活動を単元の途中で行ったりすることの意義や具体的なやり方などについてのお話がありました。

～ワークショップ①文法指導を言語活動につなぐワークショップ～

基調講演に続くワークショップには、NEW HORIZON の文法解説動画の人気講師、マシューまさるバロンさんをご登場！ トレードマークの作務衣と頭には手ぬぐい（どちらも自前！）の「リアル」マシューさんの姿に先生方は興奮した様子。マシューさんの大好物である札幌ラーメンを題材にした文法解説の実演やご自身についてのトークが披露されました。

マシューさんは幼稚園児のときにアメリカから日本に引っ越してきたそうですが、当初は、日本語があまり話せなかったそうです。

「なぜ日本語が話せるようになったか」というと、日本で友達ができ好きなものを見つけられたから。ドラゴンボールやガンダム、セーラームーンなど、知りたいという気持ちで（見たり読んだりして）気づいたら話せるようになっていました。日本語も英語も同じレベルで話せるようになり、弟のために日本語を教えていたら読むのも上手くなって、今ではちいかわの星（流れ星）の声優もやっています！」

「好きなこと」を見つけて、それをきっかけに学びを深めていくことの大切さについて熱いトークが繰り広げられました。



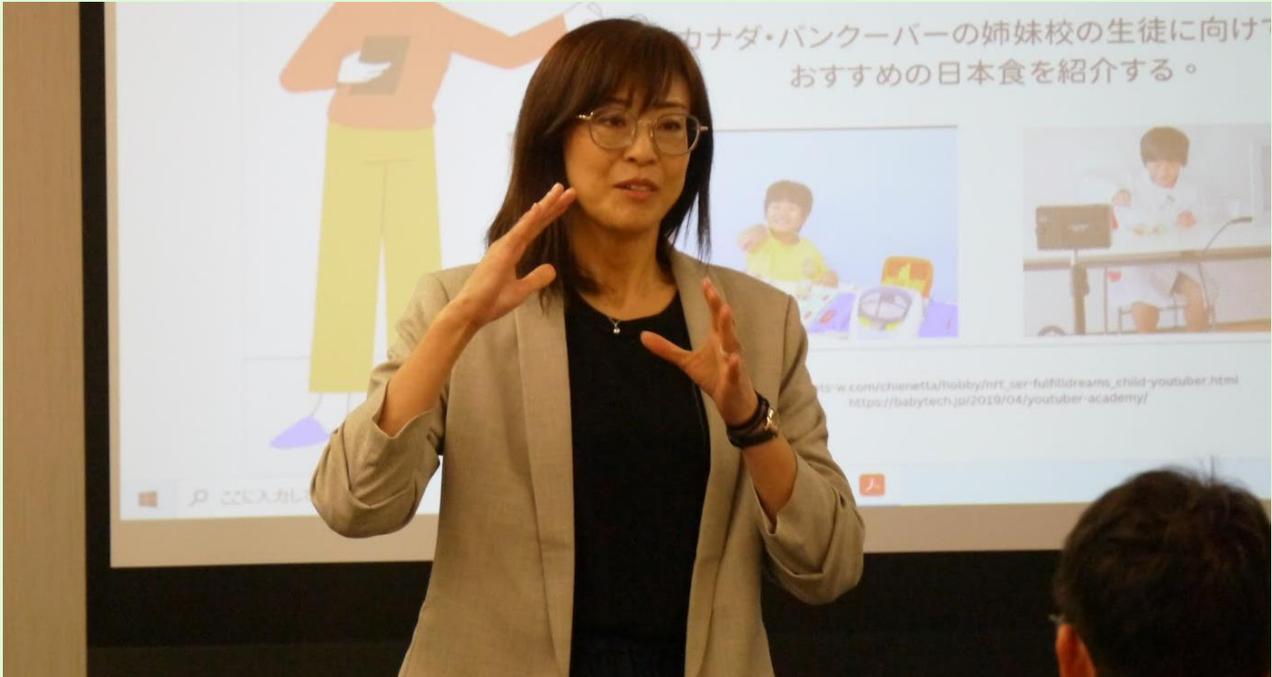
マシューまさるバロンさん

～ワークショップ②言語活動応用編 —フィードバック—

次に言語活動の応用編として、カナダ在住の NEW HORIZON 編集協力者の加藤真理先生のワークショップが行われました。「カナダの生徒に向けておすすめの日本食を紹介するビデオレターを作る」活動をグループに分かれて行い、代表のグループが発表し、それに対して加藤先生がフィードバックを行いました。

加藤先生はフィードバックについて、「ほめることと改善できることを一緒に伝えるのがポイント」とし、次のように話されました。

「人は褒められると心と耳が開きます。フィードバックは否定したり怒ったりすることではなく、その子を次の段階に持って行ってあげることです。リトル・マーメイドのアリエルと一緒に。今までは海の中しか見えなかったのが、エリック王子を見たらそれはもう別世界。次のレベルを教えることでこんなに楽しいよと具体的に教えてみてください。」



加藤真理先生

～「言語活動」はゴールではない～

セミナーの最後に、山田先生は「言語活動をゴールにするのではなく、言語活動を通して、資質能力を育成することが大切です。また、目的・場面・状況に応じて考えなどを形成し、英語で表現することが大切であり、活動をする際には示し過ぎ、与え過ぎは控えましょう。」とお話されました。

「参加された先生方が、うなずいたり、メモをとったり、スライドの写真を撮ったり・・・本当に熱心に受講してくださっていたのが印象的でした。」と今回のセミナーを振り返った城戸さん。「今回は『言語活動』がテーマでしたが、全国の先生方のニーズにそったセミナーを継続的に開催していきたいです。」と今後の見通しを語ってくれました。

なお、下記のサイトでも学校の実践事例や各種資料を掲載していますので、ご活用いただけましたら幸いです。

* 中学英語のサイト 令和7年度中学校教科書のご案内

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/>

* 小学校英語、中学校英語の情報が満載！NEW HORIZON 英語の広場

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/spl/eigo/>